

社会に通用する能力を育成するシステム

—YES-プログラム—の活用事例を紹介します。

『認定講座の展開に手応えあり。今後はすべての学生を対象に』

自ら YES-プログラム認定講座を開発、運営している大学・エクステンションセンター

「本学として新しい試みでもあり、期待半分、不安半分の気持ちでしたが、寄せられる声からは大きな手応えを感じました。受講生はみな非常にモラルが高く、特にグループワークなどの演習の評判が高かったです。」

「現在、早期キャリア教育の必要性から2年生を対象にしていますが、今後、全ての学生を対象に同プログラムを展開したいと考えています。また、学生の訓練手段の選択肢を増やすためにも、講座だけでなく同プログラムの認定試験の運営にも取り組む考えです。

将来の社会経済の担い手である若者の人材育成は焦眉の急ですので、講座開設・試験実施の機会を早急に拡大しつつ教育コンテンツの充実と教育訓練メソッドの改善に全力で取り組んでいく考えです。

あわせて、広く産業界・企業の方々と同プログラムの趣旨を認知、理解頂けるような働きかけに取り組んでいきたいと思えます。」

『人材マネジメント体系の中での位置付けに』

採用したスタッフの入社教育と登用基準の位置付けとして導入を計画中
(製造請負・受託、物流構内請負業)

「世間で言う、いわゆる社会人としての基礎教育は「マナー」が中心で「挨拶」「報連相」「職場での人間関係」「社会人としての心構え」といった内容だと思います。しかし、どれも抽象的で「スキルとして身に付いた」と実感の持てるものではなく、残念ながら、実態に即していない内容も多いです。しかし、YES-プログラムは「ビジネスリテラシー」に焦点を当てて、ビジネスパーソンに求められる資質とスキルが体系的にまとまったプログラム構成になっており、実際のビジネスシーンに即役立つプログラム構成になっていると思います。弊社では、契約社員・パート社員から正社員登用をする際、新卒者の採用をする際、派遣スタッフの教育等々で、その基軸となる「ビジネスリテラシー」の体系化を検討していたので、その位置付けで活用できる実践プログラムとして高い期待をしています。」

◆この他にも YES-プログラムの活用事例は

<http://www.bc.javada.or.jp/yes/katsuyo/index.html> に掲載しています。

社会が求める「わたし」をめざす。



若年者就職基礎能力支援事業

YES
PROGRAM

Youth Employability Support Program

- YES-プログラムの事業概要について知りたい
<http://www.mhlw.go.jp>
- 認定講座・認定試験に関する情報を見たい
<http://www.bc.javada.or.jp/yes/>
- 若年者就職基礎能力修得証明書について知りたい
<http://www.bc.javada.or.jp/yes/>
- 若年者就職基礎能力修得証明書の申請書を入手したい
<http://www.bc.javada.or.jp/yes/からダウンロード>
- 若年者就職基礎能力修得証明書の申請書の提出先
中央職業能力開発協会へ郵送（下記の住所あて）

お問い合わせ先一覧

● YES-プログラム全般について

厚生労働省 職業能力開発局 能力評価課
電話 03-5253-1111（内線 5936） FAX 03-3502-8932
住所 〒100-8916 千代田区霞が関1-2-2

● 「若年者就職基礎能力修得証明書」の発行について

中央職業能力開発協会 能力評価部
電話 03-5800-3468、3464 FAX 03-5800-3923
住所 〒112-8503 文京区小石川1-4-1 住友不動産後楽園ビル